

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年6月9日(2025.6.9)

【公開番号】特開2023-176911(P2023-176911A)

【公開日】令和5年12月13日(2023.12.13)

【年通号数】公開公報(特許)2023-234

【出願番号】特願2022-89487(P2022-89487)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 5 1

A 6 3 F 5/04 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和7年5月30日(2025.5.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の進行を制御するとともに、役の抽選結果が規定結果となった場合に規定操作方法で複数の停止操作手段が操作されると規定入賞を成立させるメイン制御手段と、前記メイン制御手段から送信されるコマンドに基づいて、前記規定操作方法を報知する報知演出を実行可能な演出手段の制御を行うサブ制御手段とを備えた遊技機において、前記メイン制御手段は、

前記複数の停止操作手段のいずれかが最初に操作された場合に第1状況コマンドを前記サブ制御手段に送信する第1送信手段と、

前記複数の停止操作手段のうち未操作の停止操作手段が次に操作された場合に第2状況コマンドを前記サブ制御手段に送信する第2送信手段とを備え、

前記サブ制御手段は、前記報知演出を実行している状況において、前記第1状況コマンドを受信することなく前記第2状況コマンドを受信した場合、前記複数の停止操作手段が前記規定操作方法で操作された場合であっても、前記演出手段に前記規定入賞と対応する規定報知を行わせず、

前記報知演出を実行している状況において前記第1状況コマンドを受信し、当該第1状況コマンドが前記規定操作方法と異なる操作方法で前記停止操作手段が操作されたことを示すものであつた場合、前記演出手段に不一致報知を行わせる制御を行う手段を備え、前記報知演出を実行している状況において前記第1状況コマンドを受信することなく前記第2状況コマンドを受信した場合、前記規定操作方法と異なる操作方法で前記複数の停止操作手段が操作された場合であつても、前記演出手段に前記不一致報知を行わせないことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

50

【 0 0 0 8 】

請求項 1 に記載の発明では、遊技の進行を制御するとともに、役の抽選結果が規定結果となつた場合に規定操作方法で複数の停止操作手段が操作されると規定入賞を成立させるメイン制御手段と、前記メイン制御手段から送信されるコマンドに基づいて、前記規定操作方法を報知する報知演出を実行可能な演出手段の制御を行うサブ制御手段とを備えた遊技機において、前記メイン制御手段は、前記複数の停止操作手段のいずれかが最初に操作された場合に第 1 状況コマンドを前記サブ制御手段に送信する第 1 送信手段と、前記複数の停止操作手段のうち未操作の停止操作手段が次に操作された場合に第 2 状況コマンドを前記サブ制御手段に送信する第 2 送信手段とを備え、前記サブ制御手段は、前記報知演出を実行している状況において、前記第 1 状況コマンドを受信することなく前記第 2 状況コマンドを受信した場合、前記複数の停止操作手段が前記規定操作方法で操作された場合であつても、前記演出手段に前記規定入賞と対応する規定報知を行わせず、前記報知演出を実行している状況において前記第 1 状況コマンドを受信し、当該第 1 状況コマンドが前記規定操作方法と異なる操作方法で前記停止操作手段が操作されたことを示すものであつた場合、前記演出手段に不一致報知を行わせる制御を行う手段を備え、前記報知演出を実行している状況において前記第 1 状況コマンドを受信することなく前記第 2 状況コマンドを受信した場合、前記規定操作方法と異なる操作方法で前記複数の停止操作手段が操作された場合であつても、前記演出手段に前記不一致報知を行わせないことを特徴とする。

10

20

30

40

50